

伊豆市立土肥小中一貫校



学校だより

特別号

住所:伊豆市土肥 2701-1  
電話:0558-98-0246  
発行:令和6年10月10日  
文責:長友 信也

## 「地域とともにある学校」を目指して

校長 鈴木 昭則

日向地区に新設の伊豆中学校の開校準備が着々と進んでいます。この他校の変化は、人ごとのように思われがちですが、本校にも新たな使命が課せられました。

土肥小中一貫校は、令和7年度から伊豆市立学校小規模特認校になります。

特任とは、地域と連携した特色ある教育活動を推進することであり、伊豆市に在住(転入)の児童生徒は、本校の教育活動に賛同すればで、一貫校で学ぶことができます。簡単に言い換えると、一貫校の学区が伊豆市全体になるということです。

これは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」作りを目的としたコミュニティ・スクールの活動をはじめ、シオ、津波防災、土肥桜、白びわ、あまも、天草、シュノーケリング、カヌー等、様々な地域の魅力を教育に取り入れてきた地域学習の成果が認められたものです。

また、地域づくり協議会との連携も進んでいます。昨年度は、7年生の立志式で、土肥への愛着を育む気球体験を行わせていただきました。今年度は、9年生がオリジナル「びわ石鯛」を商品化し実際に販売したり、マラソン選手の川内優輝プロを招いて持久走記録会を行ったりします。



このように一貫校は、地域の「人、もの、こと」から多大な御尽力を賜り、子どもたちに特色ある教育活動を提供することができており、とても感謝しています。

一貫校としても、地域を盛り上げ、地域のために貢献することを模索しており、例年、中・高等部は桜翔祭体育の部のソーランを地域イベントで発表したり、スマホ使い方講座にボランティアで参加したりしています。今年度は、初等部も11月3日のふるさと祭りで桜翔祭音楽の部の合唱を披露します。

これからも地域に支えられ、地域に貢献することで、みんなが幸せを感じることを願っています。「地域とともにある学校」により一層なることで、小規模特認校制度により、一貫校や土肥地区の魅力に惹かれ、新たな仲間が増えるかもしれません。